



あなたに伝えたい

井上しげる 市政 & 議会 レポート

発行 2008年7月 NO. 3 〒362-0031 上尾市東町2-4-11 TEL・FAX 773-3436
E-mail shigeru1952@hotmail.co.jp ホームページ <http://shigeru.5-inoue.com/>

6月定例市議会開かれる。

井上しげる

一般質問を行う

保育所・幼稚園の耐震化と
ガラス飛散防止対策
緑の保全対策

6月10日から25日まで6月定例市議会が開かれ、当局から提案された23議案、議員提案の意見書6件を審議し、23議案と4意見書を可決し、請願2件を採択しました。

また、21人の議員が一般質問を行いました。井上しげるの一般質問の要旨は、2,3面をご覧ください。

75歳以上の宿泊補助・人間ドック補助が復活など一般会計補正予算案を可決

(1泊3000円、2泊まで。8月1日から) (2万円補助、9月1日から)



一般会計補正予算では、後期高齢者医療保険制度導入により除外された、宿泊補助と人間ドック補助を復活する経費650万円が計上されました。これは、いきいきクラブ（旧老人会）などから出されていた復活を求める要望が実現したものです。

また、文化センター大ホール女子トイレ改修工事費（615万円）、原市四区集会所新築補助金（1785万円）、宏栄橋耐震補強等工事費（408万5千円）、上平中学校の片品村での農業体験費用（340万円）などが計上されました。

一般会計の補正予算額は3億94万8千円で、老人保健、介護保険特別会計を合わせると509億494万8千円の補正額です。

校舎耐震補強、トイレ改修工事請負契約可決

大石小、原市小、上平中学校の校舎耐震補強、及びトイレ改修工事請負契約を締結する3議案が可決されました。契約額は次のとおりです。

- 大石小（1億5750万円）
- 原市小（2億5462万5000円）
- 上平中（1億7976万円）



上尾村一部地域の町名をニッ宮に変更

（水道庁舎、埼玉学園の南側道路以南の区域）

上尾村の一部地域の町名を変更することについての議案が可決されました。
町名変更の実施は、平成20年9月13日の予定です。

9月定例市議会は、9月3日（水）、開会予定です。

あなたの声を聞かせてください。電話・FAX・メール、いずれの方法でも結構ですので、是非、ご意見をお寄せください。



乳幼児のほとんどが生活する 保育所・幼稚園の耐震化も急務

公立保育所の耐震化4箇所、私立保育所、幼稚園は未調査

公 立	保育所	耐震化の必要なし	4ヶ所
		耐震化補強済み	1ヶ所
		耐震診断未実施(診断対象)	2ヶ所
	幼稚園	耐震診断未実施	9ヶ所
私 立	保育所 幼稚園	耐震化の必要なし	
		未調査	

井上しげるは、前回の「校舎耐震化とトイレ改修」に続いて、保育所、幼稚園、一般住宅の耐震化について質問しました。

【井上】小・中学校の校舎の耐震化は、計画を立てて進められている。しかし、ほとんどの乳幼児が生活する保育所、幼稚園の耐震化は進んでいない。

公立ならびに民間の保育所、幼稚園の耐震化の現状がどうなっているのか聞きたい。

公立保育所

「計画的に耐震診断し、耐震化をすすめる」と答弁

【答弁】公立保育所16施設のうち耐震化の必要なし4施設（上尾、かわらぶき、上尾西、小敷谷）、補強済1施設（緑丘）。耐震診断の対象となる2施設（西上尾第二、あたご）は、なるべく早い時期に耐震診断を行い、耐震化を図りたい。平屋建て等の保育所（9施設）についても、順次計画的に診断を実施し、耐震化を進めていきたい。

民間の保育所、幼稚園については、把握していない。今後は、実態調査を行い把握に努めたい。一般住宅についての耐震化率は、69.1%。

緊急にガラス飛散防止の対策を

【井上】地震時に建物が倒壊しなくとも、窓などのガラスが飛散し、負傷する危険がある。緊急にガラスの飛散対策を講じる必要があるが、対策は？

【答弁】今月（6月）中を目途に、各保育所に調査を依頼し、フィルムの施工済み状況を確認し、未施工のガラスについては、計画的に施工を進めていきたい。

民間保育所、幼稚園、一般住宅等の耐震化補助制度を

【井上】民間の保育所、幼稚園や一般住宅の耐震化に対する補助制度を設けることが必要と考えるが。

【答弁】今年度、木造住宅を対象に耐震診断費の一部を補助していく。（右欄を参照）

耐震改修費の補助については、実施にむけて引き続き関係各課と検討していきたい。



既存木造住宅の耐震診断に補助制度

【補助対象建築物】

昭和56年5月31日以前に着工された戸建て住宅・兼用住宅

在来軸組工法・枠組工法

地上2階以下

【補助対象者】

補助対象建築物に居住し、市税を滞納していない人。

【補助金額】

耐震診断に要した費用の額の1／2
(限度額は、25,000円)

※詳しくは市建築指導課に



詳しくは、議会録画の動画配信をご覧ください。

アクセスは、上尾市HP→動画配信→議会映像→平成20年6月定例会→井上議員
井上しげるHPのリンクからもアクセスできます。

上尾市の緑の現況

	緑地面積	緑地率	減少面積
昭和63年	2221.00ha	48.80%	—
平成9年	1550.64ha	34.04%	670.36ha
平成20年	?	?	?

誰も知らない？上尾の緑の現況

【答弁】上尾市の緑地は、区画整理等で公園が増えているのに対し、相続や開発に伴い減少している傾向にある。

緑の増減を示したバランスシートについては、現在、上尾市はない。市が把握している数字をバランスシート化することを検討していきたい。

緑を守るために「みどりのバランスシート」を！

【井上】緑の大切さは誰もが指摘する。しかし、緑の現況を把握していないければ緑を守ることはできない。上尾市の緑の現況は？

緑の現況把握のため。どれだけの緑が減って、どこで補うかの対策をとるためにバランスシートをつくることについての見解を。

「みどりマップ」の作成を！ -緑や動植物など自然状況を視覚で把握できる-

【井上】「みどりのバランスシート」が数値で緑の状況を把握するものであれば、「みどりマップ」は、自然の状態をわかりやすく市民に知らせることができるもので、環境教育にも役立つ。市民団体の協働でつくることについての考えは？

【答弁】「あげおの公園とみどり」のパンフレットでは寺社等の永続性や公共性が高いものなど掲載されていない。記載可能な「みどりマップ」を作成することで、上尾の緑を視覚的に感じることができると思われる。また作成に当たっては、市民との協働という方法も選択肢の一つ。コンサルタントを交えることにより、より良い成果を挙げることが期待できると考えるので、「みどりマップ」作成を検討する。

みどりの基金の安定的確保を！

【井上】平成元年、上尾市では、画期的な施策として市税の1%を緑の基金として積立てることとした。しかし、現状は1%にはほど遠い低い数値である。

埼玉県では4月から自動車税収入額の1.5%相当額を「彩の国みどりの基金」として積立て、みどりを守る事業の取り組みを始めた。

上尾市も再度、基金を安定して確保するため基準を設けて取り組む必要があると思うが。

【答弁】平成20年度から「ふるさと納税制度」が開始され、市のホームページで寄付金の受入れを周知していくことなど基金の充実を図る。

「みどりの基金」は、緑化の推進、緑地の保全に対して、資金的に重要な役割を果たしているので、「安定的確保」について関係各課と調整し、検討していく。

「緑のまちづくり条例」の制定を要望

市が計画どおり緑のまちづくり条例を制定するよう要望しました。



みどりの基金の推移と市税の割合

年度	基金増減額 (千円)	年度末残高 (千円)	市税に対する割合
平成7年度	205,455	754,155	0.67%
平成8年度	86,431	840,568	0.27%
平成9年度	-90,716	749,852	—
平成10年度	-369,675	380,177	—
平成11年度	51,489	431,666	0.16%
平成12年度	-70,726	360,940	—
平成13年度	54,456	412,396	0.18%
平成14年度	6,589	418,985	0.02%
平成15年度	-224,515	194,470	—
平成16年度	99,571	294,041	0.35%
平成17年度	20,210	314,251	0.07%
平成18年度	25,929	340,180	0.08%
平成19年度	21,648	361,828	0.08%

視察ってどんなもの？

文教経済常任委員会視察

ドキュメント

市民の方から「議会の視察」について質問を受けたので行程を中心に書いてみました。

<1日目> 20日朝、折からの台風で強い雨の中、委員7人、担当部長2人、事務局職員2人の計11人が上尾駅に集合し、羽田空港へ。9時30分発の全日空福岡行だが、30分以上の遅れで羽田を発った。

久留米市企業支援事業視察 ~ 熊本市へ

12時、福岡空港着。地下鉄で博多駅に行き、短時間で昼食を済ませる。13時14分発のつばめ13号で久留米駅へ向かう。13時40分、久留米駅に着くと、迎えに来てくれた市のバスで最初の視察先「久留米リサーチパーク」へ。（福岡県と共同して植物を中心とした生物エネルギー、バイオマス企業を支援するための施設。入所する企業に低家賃で研究設備や施設を提供し、支援している。）

15時半頃まで説明と施設の案内を受け、次の視察先「久留米ビジネスプラザ」に向かった。ここは市が低家賃で事務所を企業に提供する事業で、第3セクターで運営している。福岡市に企業が集中するなかで、久留米市の企業支援策の一つだ。施設を見ながら説明を聞いた。16時過ぎに視察を終え、久留米駅へ。

16時41分発のつばめ19号で熊本へ。17時28分、熊本駅に着き、駅前から市電で宿泊先のホテルへ向かう。市電はなかなか風情があっていい。地方都市の魅力の一つかもしれない。ホテルに着いたときはすでに夕食時、荷物を置き、急ぎ夕食会場へと向かう。

熊本市の学校図書館支援システム視察 ~ 諫早市へ

<2日目> 9時から熊本市議会の会議室で、市の学校図書館支援センターの仕組みや事業内容の説明を受ける。小・中学校全校に司書業務補助員を配置し、子どもたちに読書に接する企画等、充実した事業を展開している。興味深く、大変参考になった。

私は、このように学校図書館の充実を図ることができた経緯を知りたかったが、担当者が変わったため詳しい話を聞くことが出来なかった。残念だ。その後もしばらく、説明を受けながら議場を見学し、熊本市議会を出る。

市職員の案内で熊本城へ行き、観光都市・熊本の目玉として、4月20日に公開された「本丸御殿大広間」を見学した。54億円の巨費を投じて「復元」したものだ。昼食後、熊本港からカーフェリーで島原港へ行き、国道を一路、次の視察地の諫早市へと向かう。途中、車窓から問題になった諫早湾を堰き止めた堤防が見えた。夕方、宿に着く。

諫早市中心市街地活性化事業視察 ~ 上尾へ

<3日目> 8時50分、諫早市役所へ。ここでは商店街の活性化の話を聞いた。大型店舗が撤退した後を商店会が買収し、そこを拠点に活性化に取り組んでいる。商店街の現地も歩きながら2時間程の視察を終え、諫早駅へ向かう。

11時42分発のかもめ20号へ博多駅へ出て、地下鉄で福岡空港へ。羽田空港からはリムジンバスで大宮駅に着き、解散した。

隣接する大きな市へ流れる企業や消費者に対応する産業政策、学校図書館施策、上尾市とは条件が違うが、工夫した取り組みは参考になった視察だった。【「市政あれこれ」はお休みします。】



こんにちは、リキです。パグは暑さに弱いからこれからの季節は苦手なんだ。だから朝、夕の涼しい時間におじいちゃんと散歩に行くんだ。おじいちゃんも暑いと大変だしさ。

ボクの家は、水上公園の近くなんだけど、夏はプールで人がいっぱいだよ。僕もプールで水浴びしたいワン！

次号は秋だね。みなさん、それまでお元気で！



【熊本市で説明を聞く】

